



## 奈良県ダンススポーツ連盟

# 2015年度（平成27年度）総会報告書

開催日時：2015年4月25日（土） 13：10～13：55

場 所：西部生涯スポーツセンター 会議室

発行者：

〒632-0086 奈良県天理市庵治町431-48

奈良県ダンススポーツ連盟

会長 大江 偉夫

TEL：090-8468-0089 FAX：0743-64-0909

奈良県ダンススポーツ連盟 2015年度定時総会議事録

日時 2015年4月25日(土) 13:00~13:30

場所 西部生涯スポーツセンター 会議室

出席者 大江 偉夫 奥田 徹 佐野 信哉 白波瀬 利光 西村 増雄 明正 和夫 塩田 稔  
明正 房江

会員総数 218名

出席者 8名 委任状提出者147名 合計155名(会員総数の100分の71)

出席者と委任状提出者の合計数が会員総数の過半数を超えているため、総会の成立が確認された。

議事・・・出席者の互選により総会の議長、及び議事録署名人に白波瀬理事を選出した。以下白波瀬理事の議長の下、議事を進行した。

1. 2014年度(平成26年度)の事業報告が別紙事業報告書どおり報告され、承認された。(別紙参照)
2. 2014年度(平成26年度)の会計報告が別紙収支計算書どおり報告され、承認された。(別紙参照)
3. 2014年度(平成26年度)の監査報告が別紙監査報告書どおり報告され、承認された。(別紙参照)
4. 2015年度(平成27年度)の事業計画が別紙事業計画書どおり提案され、承認された。(別紙参照)  
ただし、次の意見があった。

(1) 講習会の内容に①競技選手のための化粧講習、衣装講習、②ヘルスケア講習などを取り入れてはとの意見があった。

5. 2015年度(平成27年度)の予算計画が別紙予算計画書どおり提案され、承認された。(別紙参照)
6. 2015年度(平成27年度)2016年度(平成28年度)の理事・監事名簿が提案され、承認された。(別紙参照)
7. 規約改正案が提案され、承認された。(別紙参照)

以上

議事録作成日 2014年4月25日

議事録署名人 署名 印

白波瀬 利光 

# 2014年度（平成26年度）事業報告

奈良県ダンススポーツ連盟

## I. 概要

事業目標	事業報告（詳細はII.に記載）
愛好家との親睦とサークルの県連盟加盟促進（エリア担当による活動促進）	サマーダンスパーティー、オータムダンスパーティー、大がかりな新春大ダンスパーティーを開催して親睦を深めた。サークル認定活動の結果1サークルを初めてJDSF認定サークルに認定した。
競技選手会員、一般会員の拡大、ジュニア層の開拓	2015年3月31日現在の会員数218名、前年度より14名減、じり貧で残念な結果であった。ジュニア層開拓は未達成であった。
競技選手、愛好家のダンス技術レベルの向上、指導員制度の活用と充実	技術講習会を1回開催し（スタンダード）ダンスレベルの向上に寄与、西部ブロック主催の公認指導員研修会を奈良県で開催。
競技会の開催、競技会スタッフの養成、県連役員員の拡充	宇陀市総合体育館で、年2回の競技会の開催を準備したが、1回の競技会の開催に終わった。他の1回は台風の来襲で直前中止にせざるをえなかった。競技会スタッフ養成ではリアルタイムシステムの講習に2名参加した。残念なことに役員の補充はできなかった。

## II. 詳細

以下に2014年度の事業計画に沿って、各事業・行事の内容を詳述する。また、その一覧を別紙1の1に、理事会などの開催一覧を別紙1の2に記載した。

### 1. ダンススポーツ競技の推進に関する事業

#### (1) 競技会の開催

2014年5月18日（日曜日）ならシニア元気フェスタ併催第36回奈良県ダンススポーツ競技会を宇陀市総合体育館で開催した。エントリーは14区分延べ297組あり、盛大に成功裏に終了することが出来た。

奈良県競技会の特徴であるA級戦・B級戦における音楽のフェードイン方式の採用、出場者にわかりやすいプロジェクトによる競技種目案内、出場記念に出来る豪華カラーパンフレットの作成、多数の遠隔地審判員を含めた公平な7人審判、スピーディーな競技運営と役員との親切な対応は昨年引き続き出場者に好印象を与え、リピーターの増大に寄与した。

前年に引き続き競技内容をビデオ撮影し、DVDに編集して1枚1000円で販売したところ、これが好評であった。手間はかかるが奈良県競技会の特徴として、継続していきたい。

第37回競技会は県体協の要請により、同協会の主催する第23回奈良県スポーツレクリエーション祭に参加する形をとる「冠」競技会として開催を準備していたが、大型台風19号が近畿直撃コースをとり、道路、鉄道等交通機関の大混乱が予想される状況のもと、前日午後急遽中止を決定した。東京出張中（三笠宮杯役員）の大江会長と、待機の地元スタッフ間で連絡を取りつつ、正午に会長が決断、14時に中止、あらかじめ決められた分担により、全選手および審判員に電話連絡、市役所、市教委、総合体育館、地元テレビ局、来賓等への連絡応接、弁当等購入資材のキャンセル、等、前後措置に努めた。13日当日は会長自ら早朝から昼過ぎまで現地に詰め、来場者への対策にあたった。来場されたのは留守番電話の聞き漏らしの方1組だけであった。役員の一一致協力により大きな混乱を起こすことなく中止することができた。ただ、経費的にはマイナス要因となったが、妥当な判断であり、早すぎるのではとの声も聞いたが、決定の時期も適切であったと思う。京阪神のJR各線は前例のない計画運休措置を取り、当日午後には全面ストップ、宇陀市も午後には警報を発令、夜、風雨は弱まってはいたものの台風は実際に、宇陀市を通過、これらのことから考えて、逡巡して対応が遅れていたら大混乱を招いていたかもしれない。不幸中の幸いであったとするほかない。

リアルタイムシステム講習会に当連盟から2名参加し、競技会スタッフのレベル向上に寄与した。

#### (2) 技術講習会の開催

2014年8月23日、講師に松村健樹・松村栄子組を招きせせらぎホールでスタンダードの講習会を開催した。当日はまっすぐに立つ立ち方・まっすぐに立ったまま動く練習・スイングなどの講習があり、54名の参加者があった。2015年2月、3月にも講習会を計画していたが、講師予定者の都合・会場借用の都合があり、年度内には開催できなかった。年度を越して2015年4月に2015年事業として開催する計画である。

## 2. ダンススポーツの普及推進に関する事業

### (1) 会員拡大の推進

ダンス愛好家との親睦と会員拡大を図るため、2014年6月29日サマーダンスパーティーを生駒図書館で、2014年9月20日オータムダンスパーティーをせせらぎホールで開催した。2015年1月25日は、アテンド約50名、会場も広いリーベル王寺で新春大ダンスパーティーを開催した。当日の参加者数は役員も含め、サマー169名、オータム105名、新春大252名、計526名の参加者数に達した。パーティー内容は奈良県ダンススポーツ連盟の独創的な、また当連盟だからこそ出来る競技選手とのミニデモ、コンパスタイルデモ、相手選びミニデモ、を含めフリーダンスタイム、パートナーチェンジなどを織り交ぜたプログラムで、参加者から好評を得た。あまり多くの参加者になると「踊れない」というクレームも懸念されるので、パーティー券の販売限度を設けて運営した。

ジュニア指導員資格者は存在するが、ジュニア層の増加には至っていない。

前記のように競技会1回、講習会1回、ダンスパーティー3回開催して会員数の拡大に取り組んでいるが、会員層の高齢化とともに、登録更新せず1年で退会する人も多く、会員数の推移は下表のとおり減少傾向になっている。会員数の減少を食い止め、増大を図るためには抜本的な対策が望まれる。

会員数の推移

区分	2012. 3.31	2013. 3.31	2014. 3.31	2015. 3.31
DSC系	104名(89名)	102名(93名)	97名(77名)	78名(62名)
サークル系	124名(62名)	127名(57名)	135名(61名)	140名(61名)
合計	228名(151名)	229名(150名)	232名(138名)	218名(123名)

( ) は、内選手登録人数

### (2) JDSF 認定サークル拡大活動の推進

サークル認定活動の結果、今年度初めて1サークル「クープル」をJDSF認定サークルに認定した。今後このサークル事例を手本にして、サークル認定活動を推進していく必要がある。

### (3) 指導員制度を取り入れダンス愛好家に寄与する

2014年11月24日には西部ブロックの公認指導員研修会をリーベル王寺で開催し、公認指導員のレベルの維持向上に寄与した。また、公認指導員の方は、後輩の指導・サークルでの指導などを通じて、ダンス愛好家の技術レベルの向上に寄与した。

### (4) 都道府県対抗戦、ねんりんピックなどのダンススポーツ競技への参加

2014年11月9日長崎県諫早中央体育館で開催された、都道府県対抗全国ダンススポーツ大会に昨年に引き続き奈良県代表選手団として、スタンダード3組、ラテン3組、計12人の選手団を派遣した。ラテン13位、スタンダード15位、総合13位(昨年総合17位)の好成績を収めることが出来た。今後も確実に成績アップを図りたい。

長年参加が見送られていたねんりんピックであったが、2014年10月5日栃木県太田原市で開催されたねんりんピック栃木2014に、久しぶりに当ダンススポーツ連盟から2組参加した。長年参加できていなかった行事につき、今後は毎年参加できるようにしていきたい。国民文化祭は準備不足もあり残念ながら選手派遣が出来なかった。

### (5) 奈良県体育協会の活動に協力し県民の健康増進に寄与

奈良県体育協会の活動に協力し県民の健康増進に寄与した活動の一環として、第37回競技会を同協会の主催する第22回奈良県スポーツレクリエーション祭に参加する形をとる「冠」競技会として開催する計画で準備していたが、前述のごとく台風で中止せざるをえなかった。

### (6) まほろば円舞会の後援

本年度は、2014年11月29日なら100年会館で2014秋まほろば円舞会を後援した。笑顔・感動・絆は心の扉を開く、古都奈良から新しい文化を世界に発信というコンセプトのもと、宮廷舞踏会や華麗な踊りで観客を魅了した。参加者数は約1300名と多数参加され、奈良県内で人に知られる行事に、関連する官庁団体に認められる行事になってきた。

## 2014年度(平成26年度)主な事業一覧

## 1. 主催した事業

No	開催日	場所	事業の内容		参加数
1	2014.05.18	宇陀市総合体育館	ならシニア元気フェスタ併催 第36回奈良県ダンススポーツ競技会	奈良シニア元気フェスタ併催として開催、元気フェスタ戦2・元気フェスタ戦1・D級戦L・C級戦L・B級戦L・A級戦L・わかくさ戦S・ノービス戦S1・ノービス戦S2・D級戦S・C級戦S1・C級戦S2・B級戦S・A級戦S	エントリー 延べ 297組
2	2014.06.29	生駒図書館 会館	サマー ダンスパーティー	フリーダンスタイム、パートナーチェンジ、競技選手とのミニデモ、相手選びミニデモなど	参加者 169名
3	2014.08.23	せせらぎ ホール	ダンス講習会	松村健樹、松村栄子組によるスタンダードの講習会開催。まっすぐに立つ立ち方、まっすぐ立ったまま動く練習、スイウングなどの話他	参加者 54名
4	2014.09.20	せせらぎ ホール	オータム ダンスパーティー	フリーダンスタイム、パートナーチェンジ、競技選手とのミニデモ、相手選びミニデモ、など	参加者 105名
5	2014.10.13 《中止》	宇陀市総合体育館	第37回奈良県ダンススポーツ競技会	第23回奈良県スポーツレクリエーション祭参加の形の「冠」競技会として実施予定も、大型台風19号の直撃にあい、やむなく中止	エントリー 延べ 245組
6	2015.01.25	リーベル 王寺	新春大 ダンスパーティー	フリーダンスタイム、パートナーチェンジ、競技選手とのミニデモ、相手選びミニデモ、コンペスタイルデモ、新入会員ミニデモ、お年玉付きゲームなど	参加者 252名

## 2. その他の事業

No	開催日	場所	事業の内容		参加数
1	2014.10.05	栃木県大田原市	ねんりんピック (参加)	個人ラテンの部(C・R)、個人スタンダードの部(W・T)に各1組参加した	2組4名
2	2014.11.09	諫早市中央体育館 (長崎県)	都道府県対抗競技会 (参加)	ラテン 13 位、スタンダード15 位、 総合13 位(前年は総合17 位)	県代表選手 12名、
3	2014.11.24	リーベル 王寺	公認指導員研修会 (JDSF 本部主催)	JDSF 公認指導員研修会を開催、西川 A リーグ部長による机上研修と、大江会長によるジルバの実技練習	24名
4	2014.11.29	なら100 年会館	2014まほろば円舞会 (後援)	笑顔・感動・絆は心の扉を開く！ 古都奈良から新しい文化を世界に発信 1幕・まほろば王国の華やかな宮廷舞踏会 2幕・各団体グループの華麗な踊りの競演 奈良県新たな文化活動チャレンジ支援事業	約 1300 名

## 2014年度(平成26年度)理事会などの開催一覧表 案

No	開催日	場所	主議題		参加数
1	2014.4.19	西部生涯スポーツセンター	第1回理事会	総会関連議案の審議	14名
2	2014.04.26	西部生涯スポーツセンター	2014年度総会	2013年度(平成25年度)事業報告の承認、会計報告の承認、会計監査報告の承認、2014年度(平成26年度)事業計画の承認、予算案の承認、	12名 委任状 167名
3	2014.04.26	西部生涯スポーツセンター	第2回理事会	2014年度の役職・仕事分担の決定、第36回競技会の件、サマーダンスパーティの件、夏の講習会の件、オータムダンスパーティの件	12名
4	2014.05.18	宇陀市総合体育館	第3回理事会	第36回競技会の反省、講習会の件、サマーダンスパーティの件、オータムダンスパーティの件	24名
5	2014.06.29	生駒図書館	第4回理事会	第36回競技会の反省と会計報告、サマーダンスパーティの反省、講習会の件、第37回競技会の件、新春ダンスパーティの件、奈良県代表選手と費用負担の件、全国加盟代表者正会員会議・定時総会の件、塩田氏問い合わせの件	13名
6	2014.07.19	西部生涯スポーツセンター	第5回理事会	サマーダンスパーティの会計報告と反省、8月の講習会の件、第37回競技会の件、オータムダンスパーティの件、新春ダンスパーティの件、20周年記念行事の件	13名
7	2014.08.14	奈良ロイヤルホテル	第6回理事会	20周年記念パーティの件、JDSF認定サークル推進の件、ビデオ撮影の件、新春ダンスパーティの件	14名
8	2014.08.23	せせらぎホール会議室	第7回理事会	講習会の反省、オータムダンスパーティの件、第37回競技会の件、ビデオ撮影の件、サークル加盟の件、20周年記念誌の件、20周年パーティの件、指導員講習会の件	13名
9	2014.09.20	せせらぎホール会議室	第8回理事会	講習会の会計報告・アンケート報告、オータムダンスパーティの反省、第37回競技会の件、2015年度の競技会日程と開催場所の件、新春ダンスパーティの件、20周年記念パーティの件、サークル加盟の件、公認指導員講習会の件、都道府県対抗戦選手派遣の件、鳥根県ダンススポーツ連盟第10回記念競技会の広告提出の件、鳥取県ダンススポーツ連盟設立記念パーティの件	9名
10	2014.10.25	西部生涯スポーツセンター	第9回理事会	オータムダンスパーティの件、第37回競技会中止に伴う対応の件、新春ダンスパーティの件、忘年会の件、2～3月開催予定の講習会の件、都道府県対抗戦選手派遣の件、サークル認定の件、第38回競技会開催日程の件、栃木ねりんピックの参加報告と旅費費用の補助の件	10名
11	2014.11.24	リーベル王寺	第10回理事会	第37回競技会中止に伴う対応の件、都道府県対抗戦の成績報告の件、新春ダンスパーティの件、講習会の件、競技会でのDVD販売の件、2015年度競技会の会場確保の件、認定サークル推進の件、20年誌作成の件、次期役員の件	15名
12	2014.12.06	さんざにい	第11回理事会	第37回競技会中止に伴う対応の件、新春ダンスパーティの件、講習会の件、サマーダンスパーティの件、JDSF認定サークル募集の件、20年誌作成の件	13名
13	2015.01.25	リーベル王寺	第12回理事会	第37回競技会中止に伴う対応の件、新春ダンスパーティの反省、講習会の件、競技会開催日程の件、第38回競技会の件、ならシニア元気フェスタ総合開会式出席の件	14名
14	2015.02.21	西部生涯スポーツセンター	第13回理事会	新春ダンスパーティの会計報告、講習会の件、第38回競技会の件、年間行事日程の件、規約改定の件、20年誌の件、	8名
15	2015.03.28	西部生涯スポーツセンター	第14回理事会	講習会の件、サマーダンスパーティの件、第38回競技会の件、総会の資料分担の件、規約改正の件、役員補充の件、20年誌の件	13名

## 2014年(平成26年)度収支計算書

収入の部				
科目	予算額(イ)	決算額(ロ)	差異(ローイ)	備考
<b>1) 事業活動収入</b>				
1) 会費収入				
会員登録料	230,000	203,400	-26,600	1500円×130、1000円×6、1200円×2
選手登録料	200,000	194,500	-5,500	3500円×55、1000円×2
その他(再発行手数料)	0	0	0	
会費収入計	430,000	397,900	-32,100	
2) 助成還付金収入				
還付金	70,000	57,400	-12,600	
助成還付金収入計	70,000	57,400	-12,600	
3) 事業収入				
主催講習会会費収入	50,000	24,500	-25,500	
主催競技会会費収入	2,800,000	2,549,446	-250,554	
パーティー会費収入	900,000	646,000	-254,000	
事業収入計	3,750,000	3,219,946	-530,054	
4) 雑収入				
広報・会員増員活動事業収入 DVD販売収入	100,000	37,000	-63,000	
指導員研修会清算残金		14,924	14,924	
名刺代差額金		1,920	1,920	
利息	0	114	114	
雑収入計	100,000	53,958	-46,042	
当期収入合計(a)	4,350,000	3,729,204	-620,796	
前期繰越収支差額	1,034,213	1,034,213	0	
収入合計(b)	5,384,213	4,763,417	-620,796	

支出の部				
科目	予算額(イ)	決算額(ロ)	差異(イーロ))	備考
<b>2、事業活動支出</b>				
1) 事業費支出				
主催講習会事業費	60,000	39,170	20,830	
主催競技会事業費	2,000,000	2,641,351	-641,351	
主催パーティー諸経費	450,000	394,860	55,140	
広報・会員増員活動事業	100,000	10,473	89,527	
競技選手強化派遣活動事業	200,000	285,076	-85,076	
ジュニア指導活動費	30,000	0	30,000	
事業費支出計	2,840,000	3,370,930	-530,930	
2) 管理費支出				
本部納入金				
会員年会費納入	50,000	32,100	17,900	300円×107
選手登録料納入	160,000	100,000	60,000	2000円×49、1000円×2
再発行手数料	0	500	-500	500円×1
総会・理事会会議費	300,000	182,292	117,708	
会議出張・講習会会費交通費	120,000	104,360	15,640	
交際費(協賛金)	110,000	99,880	10,120	
登録管理	150,000	121,008	28,992	文房具、郵送料、送金手数料
管理費支出計	890,000	640,140	249,860	
3) 雑支出				
DVD-R購入費、郵送料及び編集依頼手数料	70,000	31,065	38,935	
パワーポイントキングソフト購入	0	6,480	-6,480	
プリンター購入		25,704	-25,704	
プリンター、インク、PPC用紙購入		5,272	-5,272	
雑支出計	70,000	68,521	1,479	
4) 支出予備費				
予備費 1	200,000	0	200,000	
予備費 2	350,000	0	350,000	
予備費支出計	550,000	0	550,000	
当期支出合計(c)	4,350,000	4,079,591	270,409	
当期収支差額(a)-(c)	0	-350,387	350,387	
次期繰越収支差額(b)-(c)	1,034,213	683,826	350,387	

# 平成26年度 監査報告書

平成 27 年 4 月 7 日

奈良県ダンススポーツ連盟  
会長 大江 偉夫 殿

奈良県ダンススポーツ連盟

監事 塩田 稔   
監事 堀田 邦子 

平成 26年度における会計および業務監査の結果につき次の通り報告します。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、決算報告書を調査し、財務諸表について検討を加えました。
- (2) 業務監査については、必要に応じて理事会に出席し、理事からの業務報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きをもって、業務執行の妥当性を検討しました。

## 2. 監査報告

- (1) 入出金、財産の管理方法並びに財務諸表については妥当であると認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、事実に従い、本会の状況を正しく示していると認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為、または法令、若しくは規約に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

# 2015年（平成27年）度奈良県ダンススポーツ連盟事業計画

## I. 公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟 の事業計画

1. ダンススポーツ発展の中長期目標達成のための施策
  - ・未経験者向けの楽しいダンスの国民向け普及施策の検討
  - ・他のダンスとのコラボレーションによる若年層導入の検討
2. 公益社団法人としての運営・組織強化
3. 会員組織の再検討
4. 選手強化施策
5. WDSF PD競技会の検討
6. ジュニア育成施策、ダンス人口増加施策、メディアPR施策、競技会活性施策などを検討
- 7～9 略

## II. 奈良県ダンススポーツ連盟の事業計画

公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟 の事業計画を参考に、本年度の事業目標を下記3項目として活動する。

- ① 愛好家との親睦とサークルの県連盟加盟促進  
エリア担当との連携を強化し実績を創る
- ② 競技選手会員、一般会員の拡大、ジュニア層の開拓
- ③ 競技選手、愛好家のダンス技術レベルの向上、指導員制度の活用と充実

目標を達成するための事業計画について説明する。

### 1. ダンススポーツ競技の推進に関する事業

#### (1) 競技会の開催

年2回の競技会開催を予定しているが、競技区分に工夫を加え単に参加者の増加だけでなく真に選手にとっての視線で他にないアットホームな中に競い合える環境を備え持つ競技会を目指す。奈良県体育協会、奈良県社会福祉協議会との連携による会場の確保と健康増進、会員拡大のための普及競技を多彩に取り入れてゆく。

#### (2) 技術講習会の開催

広く講師を招聘し、競技選手のためだけでなく、一般会員にとっても有意義な技術講習会を年2回開催する予定である。たとえばジルバやマンボ・ブルースなども考えに入れて従来のスタンダード・ラテンにとらわれる事のない技術講習にしたい。またダンスに関する身体のケアにまつわる講習も考えたい（脚、膝のケア、腰痛予防等）

### 2. ダンススポーツの普及推進に関する事業

(1) 会員拡大の推進

愛好家との親睦と会員拡大のためのダンス交流会（ダンスパーティ）の実施（大小取りまぜて、年三回プラス $\alpha$ を目標）、またサークルの運営応援体制やダンス愛好家たちの横のつながりを構築しつつ、会員の拡大を図る。そのためにエリア担当をさらに活用し推進する。

引き続き、ジュニア指導員による、ジュニア層の開拓にトライする。

(2) サークルの連盟への加盟活動推進

県下ダンス愛好家の活動状況の調査をもとにサークルの連盟への加盟勧誘を行う。また新規サークルを創設し、ダンススポーツの普及に乗り出す。

(3) 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟の推奨する指導員制度をとりいれ、積極的に利用し、サークル活動の愛好家に寄与する。

また同時に指導員の層を厚くし、サークルの拡充に努める。

(4) 昨年同様ねんりんピック（山口県開催予定）に選手を派遣してゆきたい。

奈良県ダンススポーツ連盟の二十周年および他団体との連携に向けての事業

前項2-1に重複するが、周年記念の準備年間と位置付け、また他団体と協調活動を始めつつ、ダンスパーティにも工夫を加え年3回+ $\alpha$ 開催してゆく。

周年記念と連携記念活動への準備、周知期間としたい。

以上

2015年度、2016年度の理事・監事名簿（五十音順）

理事	伊東 勝 上亟 明 上田 紀代子 大江 偉夫 奥田 徹 笠井 敏雄 佐野 信哉 下垣 都博 西村 増雄 明正 和夫 吉井 誠児 李 澄昊
監事	塩田 稔 堀田 邦子

2015年(平成27年)度 予算(案)

収入の部					
科目	2014年度			2015年度	
	予算額(イ)	決算額(ロ)	差異(ロ-イ)	予算	備考
1) 事業活動収入					
1) 会費収入					
会員登録料	230,000	203,400	-26,600	230,000	1500×130、1000×6、1200×2
選手登録料	200,000	194,500	-5,500	200,000	3500×55、1000×2
その他(再発行手数料)	0	0	0	0	
会費収入計	430,000	397,900	-32,100	430,000	
2) 助成還付金収入					
還付金	70,000	57,400	-12,600	70,000	
助成還付金収入計	70,000	57,400	-12,600	70,000	
3) 事業収入					
主催講習会会費収入	50,000	24,500	-25,500	50,000	年二回
主催競技会会費収入	2,800,000	2,549,446	-250,554	2,800,000	年二回
パーティー会費収入	900,000	646,000	-254,000	900,000	年3+α回(事業計画に従い増)
事業収入計	3,750,000	3,219,946	-530,054	3,750,000	
4) 雑収入					
広報・会員増員活動事業収入 DVD販売収	100,000	37,000	-63,000	50,000	
指導員研修会清算残金		14,924		0	
名刺代差額金		1,920	1,920	0	
利息	0	114	114	0	
雑収入計	100,000	53,958	-46,042	50,000	
当期収入合計(a)	4,350,000	3,729,204	-620,796	4,300,000	
前期繰越収支差額	1,034,213	1,034,213	0	683,826	
収入合計(b)	5,384,213	4,763,417	-620,796	4,983,826	

支出の部					
科目	2014年度			2015年度	
	予算額(イ)	決算額(ロ)	差異(イ-ロ)	予算	備考
2、事業活動支出					
1) 事業費支出					
主催講習会事業費	60,000	39,170	20,830	60,000	
主催競技会事業費	2,000,000	2,641,351	-641,351	2,000,000	
主催パーティー諸経費	450,000	394,860	55,140	400,000	
広報・会員増員活動事業	100,000	10,473	89,527	50,000	
競技選手強化派遣活動事業	200,000	285,076	-85,076	300,000	和歌山(対抗戦)8組、山口2組、国民文化祭鹿児島2組
ジュニア指導活動費	30,000	0	30,000	20,000	
事業費支出計	2,840,000	3,370,930	-530,930	2,830,000	
2) 管理費支出					
本部納入金					
会員年会費納入	50,000	32,100	17,900	50,000	昨年並み
選手登録料納入	160,000	100,000	60,000	100,000	
再発行手数料	0	500	-500	0	
総会・理事会会議費	300,000	182,292	117,708	250,000	
会議出張・講習会会費交通費	120,000	104,360	15,640	120,000	本部会議、ねんりん、対抗戦
交際費(協賛金)	110,000	99,880	10,120	110,000	本部主催×3、大阪グランプリ×1
登録管理	150,000	121,008	28,992	150,000	文房具送料他
管理費支出計	890,000	640,140	249,860	780,000	
3) 雑支出					
DVD-R購入費、郵送料及び編集依頼金	70,000	31,065	38,935	50,000	
体育協会	0	0	0	60,000	体育協会会費(増加)
パワーポイントキングソフト購入	0	6,480	-6,480	0	
プリンター購入	0	25,704	-25,704	0	
プリンター・インク・PPC用紙購	0	5,272	-5,272	0	
記念品代	0	0	0	0	
供花 弔電代	0	0	0	10,000	
雑支出計	70,000	68,521	1,479	120,000	
4) 支出予備費					
予備費 1	200,000	0	200,000	200,000	
予備費 2	350,000	0	0	0	
予備費支出計	550,000	0	550,000	200,000	
当期支出合計(c)	4,350,000	4,079,591	270,409	3,930,000	
当期収支差額(a)-(c)	0	-350,387	350,387	-700,774	
次期繰越収支差額(b)-(c)	1,034,213	683,826	350,387	1,053,826	

# 奈良県ダンススポーツ連盟規約の改正

(改正された条文のみ記載。全文は奈良県ダンススポーツ連盟ホームページに掲載。)

## (名 称)

- 第 1 条 本連盟は、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟（以下 J D S F という）に加盟する、奈良県におけるダンススポーツの統一組織であり、奈良県ダンススポーツ連盟と称する。英文名を「Naraken DanceSport Federation」とする。
- 2 本連盟の通称を、「J D S F 奈良県ダンススポーツ連盟」とする。
  - 3 本連盟の略称を、「J D S F 奈良」とする。

## (目 的)

- 第 3 条 本連盟は、J D S F の定款に基づき、奈良県におけるダンススポーツの統一組織として、ダンススポーツの振興を図り、もって人々の心身の健全な発達に寄与することにより社会に貢献することを目的とする。

## (事 業 等)

- 第 4 条 本連盟は、前条の目的を達成するために、次の事業または活動を行う。
- (1) ダンススポーツが生涯スポーツとして、またオリンピックおよび国民体育大会につながるスポーツに発展するよう、その普及と振興に努めること
  - (2) 奈良県におけるダンススポーツのクラブ・サークル活動の振興
  - (3) J D S F 公認又は承認等のダンススポーツ競技会の開催及び支援
  - (4) J D S F が行う事業への協力
  - (5) 公益財団法人奈良県体育協会の活動に対し、加盟団体としての所要の協力
  - (6) 本連盟所属の会員及び選手等の登録管理
  - (7) 会員相互の技術向上のための練習会、親睦のための交流会等の開催
  - (8) 機関誌等刊行物の発行等
  - (9) その他、前条の目的を達成するために必要な事業または活動

## (入会金及び会費)

- 第 7 条 会員は、本連盟の総会の議決を経て定めるところの入会金及び会費を納めなければならない。
- 2 会員は本連盟を通じて J D S F へ会員登録を行い、J D S F 所定の年会費を納めなければならない。

## (権 限)

- 第 10 条 総会は、次の事項について決議する。
- (1) 理事及び監事の選任又は解任
  - (2) 事業報告書、収支決算書及び貸借対照表の承認
  - (3) 事業計画書及び収支予算書の承認
  - (4) 規約の変更
  - (5) 解散及び残余財産の処分
  - (6) その他必要と認められた重要な事項

## (決 議)

- 第 15 条 総会は、前条第三項にいう出席者を含む出席構成員の総数が、会員総数の過半数を超えた時に成立し、その決定は出席者の議決権の過半数の表決をもって行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、次の各号に係わる決定は、出席した当該構成員の議決権の 3 分の 2 以上に当たる多数の表決をもって行う。
    - (1) 役員の解任
    - (2) 規約の変更
    - (3) 解散又は J D S F からの脱退

## (事業報告及び決算)

- 第 32 条 本連盟の第 10 条（3）の書類については、毎事業年度終了後、会長が作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

## (他団体への加盟)

- 第 36 条 本連盟は、J D S F の承認を得て他の団体に加盟する事ができる。

## 附則

この改正規約は 2015 年（平成 27 年）4 月 1 日より施行する。